

たかもり農地利用最適化推進運動

農委会名：高森町農業委員会

1 地域の概要

本町は阿蘇五岳と南外輪山の間であり、南阿蘇の中でも奥座敷といわれる静かで自然の安らぎにあふれる町である。

産業は、農林業と観光業が主体で、畑作・稲作・葉タバコ生産・畜産などで発展してきた。昭和30年代から続く高冷地野菜の栽培に加え、近年ではトマトやヒゴムラサキなどの施設栽培が盛んである。しかし、担い手不足や、高齢化に伴い、農地や農業施設の維持管理に困難が生じている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 14人（うち、認定8人、女性1人）
- (2) 推進委員数 18人（うち、認定7人）
- (3) 事務局体制 3人（兼任）

3 掲げた目標

担い手へ農地の集積・集約化【9.0ha】

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

「人・農地プラン」の見直しを行うために、本町9地区を対象にアンケートを実施・集計した。また、地域ごとの結果を地図上にデータ化し現況を視覚化し把握した。



令和元年度に集積した農地



現況を視覚化した地図の確認作業

5 取り組みの成果

＜担い手への農地の集積・集約化＞

平成31年度の担い手（個別経営体及び農地所有適格法人等）への新規集積面積は9.1haであった。

5 課題と今後の方針等

本町の実情が正しく反映された人・農地プランの見直しに向けて、今後も話し合いや検討委員会の場を設け、2021年度には見直しが完了するよう当該計画の活動を行っていく。